

## ステークホルダーとの価値共創

ロームは、環境・社会課題を解決し、ステークホルダーから選ばれ続けるグローバルメジャーとなることを目指しています。この実現に向けて、あらゆるステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションの機会を積極的に設け、さまざまな期待におこたえていくことで、信頼関係を強化できるよう努めています。

	ステークホルダーとの関係	ステークホルダーから期待されていること	対話の方法・機会	ステークホルダーとの主な取り組み事例
 <b>顧客</b>	<p>高品質な商品の供給を通じて、自動車、産業機器、民生機器などのメーカー及び部品メーカーとの信頼関係の構築に努めています。また、顧客との共同研究や開発を通して、新たな価値創造を目指しています。併せて、商社との協力関係構築にも取り組んでいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客商品価値の向上</li> <li>新製品・製品改善につながる要望の実現</li> <li>製品の適正品質の実現</li> <li>製品の安定供給</li> <li>適切な製品情報の開示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客訪問及びオンラインによる営業活動</li> <li>展示会</li> <li>製品説明会・技術交流会</li> <li>共同研究・開発</li> <li>顧客の品質満足度調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客ニーズを先回りで理解し、商品企画へとつなげる体制の強化 ……▶ P.8, 11</li> <li>顧客のセットの省エネ・小型化を実現する総合的なシステム提案 ……▶ P.10, 11</li> <li>顧客の品質満足度スコアの改善及び結果に基づく改善活動の推進 ……▶ P.39</li> </ul>
 <b>従業員</b>	<p>経営基本方針のなかで、「広く有能なる人材を求め、育成し、企業の恒久的な繁栄の礎とする。」と掲げています。創業以来、蓄積されてきた会社の歴史や技術、資産は会社にとって重要な財産であり、それを培ってきたのは紛れもなく人財です。だからこそ、ロームでは、従業員一人ひとりが個人個人の能力を最大限に引き出せるよう成長意欲に投資し、人材育成に注力することに加え、広く有能なる人財が生き生きと活躍できる舞台を整備することを通じて、会社と従業員の循環的な成長を目指しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働安全衛生の確保</li> <li>人権の尊重と差別の排除</li> <li>人材の育成と活用</li> <li>ダイバーシティ(多様性)の尊重</li> <li>Well-beingの実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンゲージメントサーベイ</li> <li>従業員意識調査</li> <li>社長との座談会による対話</li> <li>社内決算説明会</li> <li>内部通報システム(コンプライアンスホットライン)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャレンジを生み出す風土の醸成によるエンゲージメントの強化 ……▶ P.46</li> <li>エンゲージメントサーベイスコアの改善及び結果に基づく改善活動の推進 ……▶ P.48</li> <li>ダイバーシティ推進 ……▶ P.48, 49</li> <li>従業員の健康と安全の確保 ……▶ P.49</li> </ul>
 <b>サプライヤー</b>	<p>高品質かつ安心・安定したものづくりを可能にするには、調達における部材品質の確保や安定供給はもちろんのこと、労働・倫理や環境に配慮したCSR調達への取り組みは欠かせません。ロームは、サプライヤーとの継続した信頼関係・協力関係を大切にしながら、双方が持続的に成長できる調達活動を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>透明で公正な取引の徹底</li> <li>グローバルサプライチェーンにおける人権、労働安全衛生環境への配慮</li> <li>調達BCPの徹底</li> <li>グリーン調達の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対面及びオンラインによる調達活動</li> <li>調達デューデリジェンス CSR調達推進説明会 CSR調達監査 CSR調達セルフアセスメント(CSRアンケート)</li> <li>サプライヤー用ホットライン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCM体制・ESGに関する取り組みの整ったサプライヤーからのCSR調達の強化 ……▶ P.66</li> <li>サプライチェーン把握による有事の迅速な影響調査を実現 ……▶ P.67</li> </ul>
 <b>株主・投資家</b>	<p>株主・投資家の皆さまとの「対話」による双方向コミュニケーションを重要視しています。企業情報をタイムリーに提供するとともに、株主・投資家の皆さまからの期待や評価を社内フィードバックすることによって企業価値の最大化に取り組んでいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業価値向上</li> <li>資本コストを上回る株主リターンの実現</li> <li>情報の適切、公正、タイムリーな開示</li> <li>コーポレートガバナンスの高度化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株主総会</li> <li>経営陣による証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会(2回)※</li> <li>対面及びオンラインによるIR活動(取材件数:550件以上)※</li> <li>工場見学会(15回)※</li> </ul> <p>※2023年度実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>IR活動を通して得られた意見・要望について、経営層へのフィードバック及び経営への反映 ……▶ P.85</li> <li>株主・投資家との対話充実のための情報開示及びIRツールの強化 ……▶ P.85</li> <li>ESG課題についての取り組みに関する開示の充実 ……▶ P.26</li> </ul>
 <b>社会・環境</b>	<p>創業以来、企業市民の一員として社会の発展充実や健全化に貢献するため、地域社会と接点を持ち、交流を深める活動を大切にしています。社会の発展、文化の進歩向上のため、地域をはじめ、広く社会のニーズにこたえ、より良い社会環境の実現を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷低減及び自然環境の保全</li> <li>それぞれの地域の課題にこたえる活動の展開及び発展への貢献</li> <li>NPOをはじめとした社会貢献団体との協働</li> <li>社会貢献活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産、事業活動における環境負荷の低減</li> <li>3つの軸に基づく社会貢献活動                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- 教育支援(出張授業など)</li> <li>- 環境保全(緑化活動、ビオトープエリアを通じた環境教育活動など)</li> <li>- 文化・地域交流(音楽支援)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GHG排出量、水資源、廃棄物量の削減、化学物質管理の徹底 ……▶ P.60</li> <li>各拠点における地域社会とのコミュニケーション強化及び生物多様性の推進 ……▶ P.61, 71</li> </ul>